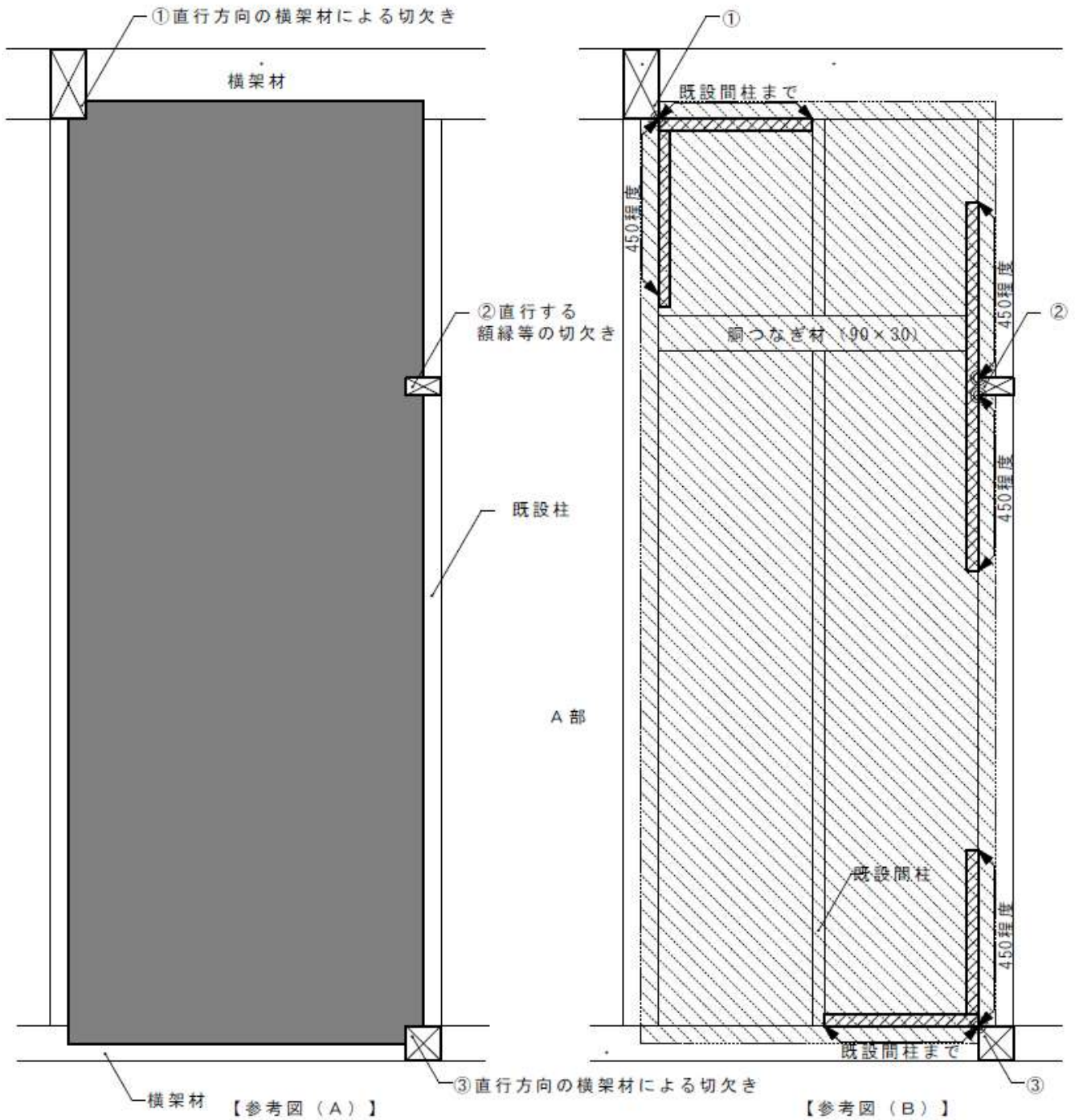


切欠き（評価上支障の無い範囲に限る）した場合の受け材について



※1. 評価技術名称「構造用合板を用いた在来補強工法」の参考資料です。

※2. 切欠き（評価上支障の無い範囲に限る）の施工例①～③・・・【参考図（A）】参照

※3. 受け材は、切欠き（評価上支障の無い範囲に限る）から、450程度必要です。・・・【参考図（B）】参照



凡例

-  構造用合板を示す。
-  受け材（見付30×奥行40、釘 N75@300）を示す。
- ◎ 構造用合板の切欠を示す。